

風水害緊急避難場所

指定避難所

●風水害緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況において、住民等が緊急に避難する際の避難先です。

●指定避難所
災害の危険性が回避した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。

要配慮者利用施設

浸水に関する情報

家屋倒壊等氾濫想定区域

早期の立退き避難が必要な地域

氾濫流※1

河岸侵食※2

※1 木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがある区域。
※2 家屋が倒壊するような河川侵食の発生するおそれがある区域。

最大浸水深(想定最大)

- 5.0m以上 ※1
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満 ※2
- 0.3m未満

※1 最上階も浸水するおそれがあることから、**早期の立退き避難が必要**。
※2 床上浸水または床下浸水が想定されることから、浸水時の状況を踏まえ、自らの判断で自宅の2階以上に避難するなど屋内安全確保でも良い。

河川等

基準水位観測所

土砂災害に関する情報

土砂災害警戒区域等

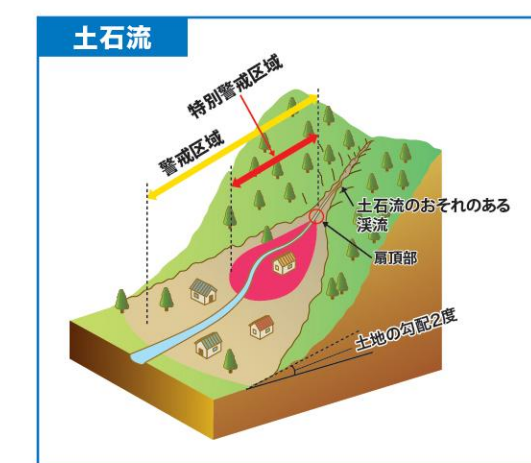
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

土砂災害危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所等
- 土石流危険区域
- 土石流危険渓流等
- 主流路

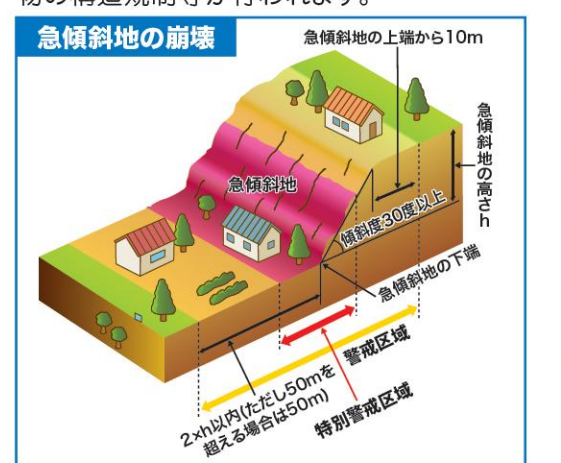
土砂災害警戒区域

土石流等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の準備が行われます。



土砂災害特別警戒区域

土石流等が発生した場合に、建築物に損傷が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制等が行われます。



浸水継続時間(想定最大規模)

浸水継続時間とは、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの通算時間です。

凡例

- 12時間未満



洪水・土砂災害ハザードマップ

興津川上流

想定最大規模

洪水・土砂災害ハザードマップ(興津川)では、静岡県によって想定された興津川における最大規模の浸水想定区域(興津川流域の16時間総雨量648.8mm)を示しています。実際の洪水による浸水が常に想定通りの結果となるわけではありませんが、各自が避難の目安としてお使いください。